

補助金評価シート

区分	重点 重点以外	補助根拠	法令補助 ・ その他補助	開始時期	平成29年4月1日	終期	令和2年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	女性緊急一時保護等事業費補助金 女性の基本的人権と自由を侵害するあらゆる暴力の根絶及び女性差別の根本的解決を図り、男女平等社会の形成を目標に活動している市民団体が行う、シェルター（かけこみ寺）の運営を主としたDV被害者救済に関する事業を支援する。補助額：補助対象経費の1/2以内（上限55万円）						
款・項・目	総務部 総務監理費 男女共同参画費						
所属等	市民生活部 男女共同参画課			電話025-226-1061			

年 度		平成29年度（1年目）		平成30年度（2年目）		令和元年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	1,100		1,100		1,100	
	決算(千円)	1,100		1,100		1,100 (見込)	
補助率		1/2		1/2		1/2	
目 標		女性被害者がいつでも安心してかけこみ利用できる精神的・物質的な環境を維持すること（シェルター・ステップハウス入居支援100%を目指す）					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上	100.0%	シェルター：24件 ステップハウス：13件 (入居できない事例なし)	100.0%	シェルター：20件 ステップハウス：20件 (入居できない事例なし)	100.0%	シェルター：20件 ステップハウス：20件 (入居できない事例なし)
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化	※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください					
補助事業者による情報の公表		総会議案書、情報誌、チラシ等					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	<input type="radio"/>	e. 指標の推移が維持・向上しているか	<input type="radio"/>
		b. 補助率は1/2以内か	<input type="radio"/>	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	<input type="radio"/>
		c. 補助額が5万円以上になっているか	<input type="radio"/>	g. 目標は数値化されているか	<input type="radio"/>
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	<input type="radio"/>	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	<input type="radio"/>
	×になった項目に対する今後の取組	<g～hにおける取組>			
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること DV女性被害者やその子どもたちがいつでも安心してかけこみ利用できる環境を維持する民間団体のシェルター・ステップハウスが担う役割は非常に大きい。そして、身の安全の確保および利用者のニーズに合わせた回復・自立のためのサポートに係る事業費が増えてきていること、並びに民間シェルターの基盤強化と対応力の向上等、民間シェルター等に対する支援拡充に向けて内閣府でも検討を進めていることから、支援の拡充を検討したい。					